

# 第116回宇宙政策委員会 農林水産省説明資料

令和7年1月  
農林水産省

# 農林水産省における宇宙関係予算について

- 昨年6月に閣議決定された宇宙基本計画に基づき、衛星測位技術を用いた農機の自動走行技術や、林業・水産業分野での衛星情報の活用等、スマート農林水産業の取組を推進。
- 令和6年度補正予算額 **29.1億円**
- 令和7年度予算概算決定額 **45.2億円**

## 【宇宙基本計画における農林水産分野の位置づけ】

### 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ

#### (2) 国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現に向けた具体的アプローチ

##### (d)衛星開発・利用基盤の拡充

#### 【衛星データ（衛星リモートセンシング・測位）の利用拡大と政府によるサービス調達の推進】

衛星測位技術を用いた農機の自動走行技術、衛星画像を活用した作物の生育状況診断や、林業・水産業分野での衛星情報の活用等、スマート農林水産業技術の開発・実証・実装を一層推進し、農林水産業の生産現場における担い手の減少や高齢化による労働力不足などの課題解決を図る。

## 【令和7年度宇宙関係予算概算決定額及び令和6年度補正予算額】

|    | 令和6年度補正予算額    | 令和7年度予算概算決定額  | (参考) 令和6年度当初予算 |
|----|---------------|---------------|----------------|
| 総額 | <b>29.1億円</b> | <b>45.2億円</b> | <b>52.3億円</b>  |

# スマート農業技術活用促進法※の概要

※農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律

- 農業者の減少等の農業を取り巻く環境の変化に対応して、農業の生産性の向上を図るため、
- ①スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画（**生産方式革新実施計画**）
  - ②スマート農業技術等の開発及びその成果の普及に関する計画（**開発供給実施計画**）
- の認定制度の創設等の措置を講ずる。

## 農林水産大臣（基本方針の策定・公表）

【法第6条】

（生産方式革新事業活動や開発供給事業の促進の意義及び目標、その実施に関する基本的な事項 等）

↑ 申請

↓ 認定

↑ 申請

↓ 認定

### ①スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画（**生産方式革新実施計画**）

【法第7条～第12条】

#### 【生産方式革新事業活動の内容】

・**スマート農業技術の活用と農産物の新たな生産の方式の導入をセット**で相当規模で行い、農業の生産性を相当程度向上させる事業活動

#### 【申請者】

・生産方式革新事業活動を行おうとする農業者等※1  
（農業者又はその組織する団体）

※1 継続性や波及性を勘案し、複数の農業者が有機的に連携して取り組むことが望ましい

（スマート農業技術活用サービス事業者や食品等事業者が行う生産方式革新事業活動の促進に資する措置を計画に含め支援を受けることが可能）

#### 【支援措置】

・日本政策金融公庫の長期低利融資  
・行政手続の簡素化（ドローン等の飛行許可・承認等）など

### ②スマート農業技術等の開発及びその成果の普及に関する計画（**開発供給実施計画**）

【法第13条～第19条】

#### 【開発供給事業の内容】

・農業において特に必要性が高いと認められる**スマート農業技術等※2の開発**及び当該スマート農業技術等を活用した**農業機械等又はスマート農業技術活用サービスの供給を一体的に行う事業**

※2 スマート農業技術その他の生産方式革新事業活動に資する先端的な技術

#### 【申請者】

・開発供給事業を行おうとする者  
（農機メーカー、サービス事業者、大学、公設試等）

#### 【支援措置】

・日本政策金融公庫の長期低利融資  
・農研機構の研究開発設備等の供用等  
・行政手続の簡素化（ドローン等の飛行許可・承認）など

【**税制特例**】①の計画に記載された設備投資に係る法人税・所得税の特例（特別償却）、②の計画に記載された会社の設立等に伴う登記に係る登録免許税の軽減

# 農林水産省における宇宙関係予算について（具体的な施策の紹介）

## ①衛星データを活用したスマート農業

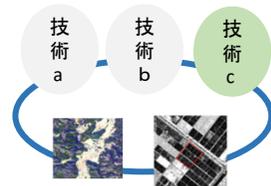
- 衛星測位情報を活用した高精度なロボットトラクター等による作業負担の軽減や、衛星リモートセンシングにより生育状況やそのばらつきを把握し、適肥やばらつき解消により収量の増加を実現。
- これまで開発、実証された衛星活用技術の中でニーズが高く普及可能性のある技術の横展開に必要な支援等を実施。



無人運転による刈り取り作業



衛星画像による生育状況の見える化



衛星活用技術の整理・分析及び横展開を図る

## ②eMAFF地図による農地関連業務の効率化

- 衛星画像を使用したデジタル地図を活用し、農地の利用状況の現地確認等の業務の抜本的な効率化・省力化などを図る「農林水産省地理情報共通管理システム（eMAFF 地図）」の取組を実施。

【イメージ】

### 現地確認アプリ



現場で農地情報や周辺地図を確認し、確認結果をデータ入力できるなど農地関連業務が効率化

## ③林業機械の自動化、GNSS受信機の導入推進

- 衛星測位技術等を用いて林業機械の自動化に向けた技術開発・実証を実施中。また、森林資源・境界管理の効率化に向けてGNSS活用を推進。

【自動運転林業機械(開発・実証中)】 【GNSSを活用した森林資源・境界管理(普及段階)】



丸太運搬機械



下刈り機械



従来方法



GNSS活用

- ・2人1組で距離・角度を測量
- ・1人で手軽に境界測量
- ・手書きの数値から面積計算
- ・境界データを施業提案に反映

## ④沖合・遠洋漁船への漁海況情報の提供

- 人工衛星、漁船等からのデータを基にした海水温の広域分布図や各種海洋データを集約して、高精度の水温図、黒潮などの海流の方向・流速等の漁場探索に役立つ情報を、漁業関係者等へ提供。

